

典型的な胸部レントゲン写真像を呈し、確定診断にCT検査が必要であった。

症例2は食道破裂術後患者で、両側胸腔ドレーンチューブが挿入されていたが、エアリークは見られていなかった。プレッシャーサポートによる補助呼吸中にドレーンバックが破損し、空気が引き込まれて緊張性気胸を発症したと考えられた。

ICU患者では、比較的まれな原因による気胸や通常と異なるレントゲン写真像も念頭におくべきであると考えられた。

25 受傷8日後に急性循環不全に陥った一酸化炭素中毒の一症例

木下 秀則・田中 敏春・広瀬 保夫
山崎 芳彦・岡崎 悦夫*・渋谷 宏行*
国分誠一郎**・清水美弥子**
北原 泰**・佐久間一弘**
伝田 定平**

新潟市民病院救命救急センター
同 臨床病理部*
同 麻酔科**

今回我々は急性期を経過した受傷8日後に突然、治療抵抗性の急性循環不全に陥った一酸化炭素中毒の一例を経験した。一酸化炭素の毒性機序としてヘモグロビンとの結合による酸素運搬障害が知られているが、その他のヘム蛋白に結合することによる細胞レベルでの酸素利用障害も看過できない。本例では病理所見から心筋壊死の原因が心筋梗塞ではなく、細胞レベルでの酸素利用障害に起因するものと考えられた。

II. 特別講演

「自分が満足する基礎・臨床研究」

札幌医科大学麻酔学講座

山 蔭 道 明

第1回新潟HIVカンファランス

日 時：平成9年12月19日（金）

午後6時～8時

場 所：新潟大学医学部
有壬記念館

特別講演

1 エイズ拠点病院としての長岡赤十字病院の取り組み

長岡赤十字病院 看護部

淡 路 記 伊

2 HIV感染症 治療法の進歩

東京大学医学部 第1内科

木 村 哲

第2回新潟HIVカンファランス

日 時：平成10年11月13日（金）

午後6時30分～8時30分

場 所：新潟東映ホテル

特別講演

1 HIV診療におけるコーディネーターの役割

新潟大学医学部附属病院 看護部

エイズ予防財団 リサーチレジデント

前 田 正 美

2 AIDS治療の新展開とその問題点

熊本大学医学部 第2内科

満 屋 裕 明